

150105と畜業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	10	10～ 11	豚の解体作業で、と体をハンガーにかけ、吊り上げてレーンに送る際に、レーンまで届かなかったため、押して間に合わせようと走って行った所、ステンレス製の側溝の蓋の表面に溜まった豚の血液と、底の擦れた長靴に付着した油分で滑り転倒し、肩・腰・膝を強打、捻ってしまった。2～3日で痛みが治まるかと様子を見ていたが、治まらなかった。1週間後も痛みが治まらず、MRI検査をすすめられ、検査の結果、腰椎捻挫と左肩挫傷と診断された。	59	2	417	10～ 29
2	2017	10	8～9	事業所内にて牛のと畜解体作業中、と畜した牛を後ろ足で吊し、牛の頭部を同僚がナイフで切り離す作業をするため、牛の前足を両手で押さえていたところ、牛の前足が痙攣して上に動いたため、右手の甲が同僚が持っていたナイフの刃先に当たり負傷する。	70	8	719	10～ 29
3	2017	8	11～ 12	牛の枝肉洗浄作業のため昇降台に乗り作業を行っていたとき、台を下げようと操作ペダルを踏み込んだが台が下がらず、チェンブロックの鎖だけが動いた。少し遅れて鎖が緩んだ分だけ一気に下がり、台と共に落ち、右足踵を骨折した。	74	1	214	10～ 29
4	2017	8	13～ 14	当社において、吊るされている豚の枝肉を洗い右に移動させようと、両手で枝肉を押していた時に、腰を捻り負傷した。	50	19	529	30～ 49
				小動物処理室（けい留所）で豚（大貫）を後方から追い込み				

5	2017	8	16~ 17	中に、豚が反転したため避けよとして、柵を飛び越えた際に、柵のカギ（フック式）の突起部分に接触し、左膝下内側を6針切創および骨にヒビが入った。	21	3	418	100~ 299
6	2017	7	15~16	豚のバックサポート工程（頭落し作業）において大貫豚（雄）をバックサポート台に乗せて右手のナイフで豚の頭を切り落とすため、ナイフを入れた時、頭を押えていた左手の位置が悪かったので、誤って刃先で左手首下部を刺してしまい切創、負傷した。	32	8	364	100~ 299
7	2017	6	17~ 18	本館棟（工場）カット処理区間入場口において、作業終了後に長靴等を着脱する入場口のフローリング部分で、足を滑らせ転倒し、背中を強打した。尚、以前より私傷病（頸部捻挫、背部挫傷（下部））にて通院加療、経過良好であったところを本件にて疼痛増大した。	28	2	416	100~ 299
8	2017	6	13~ 14	空トロリーを引き込み作業中に、レールのコーナー部で足を滑らせ、バランスを崩して転倒した。転倒した際、床に左手を着いた時、左手首を負傷（橈骨骨折）した。	34	2	416	100~ 299
9	2017	4	10~ 11	牛と畜場内の牛背割りを行う所で、ホルスタイン種の牛枝肉を背割終了後に股カギ棒が牛枝から外れ、背割機ハンドルを持っていた左手甲の人差し指付け根から手首側へ2cm位の所に当たり、5mm位の裂傷と人差し指中手骨骨折を負った。	67	6	364	30~ 49
10	2017	1	13~ 14	小動物内蔵処理室（豚頭肉処理室）で豚の頭の脱骨作業中、左手で支えていた豚頭が滑り、そのはずみで右手に持っていたナイフで左腕を刺した。	29	8	364	100~ 299
11	2016	11	10~ 11	トラックから牛を降ろして保養所内にある柵につなぐ作業の途中、牛が暴れたため、焦ってロープを引っぱったところ、逆に牛に引っぱられ、前のめりに転倒した際に左手をつき、左手首を骨折した。	73	2	719	30~ 49
				豚の追い上げをしている時、豚がぶつかってきて、豚の頭と				

12	2016	11	14～ 15	柵の間に右手が挟まった形となり、数日後右手中指が腫れてきた。	57	6	719	30～ 49
13	2016	11	14～ 15	小動物内蔵職場の胃洗浄機整備作業を行っていた。上部に取り付いた長さ80cm、重さ20kg位の部品を外す際、部品を50cm位落とす事になるので、洗浄槽の下側で落下時、暴れないようにしようとした。その際、落ちてきた部品と装置の土台とで誤って右手薬指と小指を挟んでしまい負傷した。	31	7	169	100～ 299
14	2016	11	12～ 13	カット部門の梱包作業中に製品庫内のパレットを柵から引き出そうと手で手前に持ってきた時に、手袋が滑り左足甲に落下させてしまった。	56	4	612	50～ 99
15	2016	10	13～ 14	牛の解体作業中、被災者は頭の皮剥ぎを行っていた。右手でナイフを持ち、頭の上から下へ剥いでいた。その作業中に、手が滑ってナイフを落としそうになった。ナイフを落とさないように、慌てて掴み直そうとしたところ、誤って右の太ももをナイフで切ってしまい負傷した。	23	8	379	30～ 49
16	2016	10	10～ 11	冷凍保管庫内で、鶏肉を冷凍保管庫内の2階に入れるために階段を上っていた時、天井に設置されている送風機に気付かず頭頂部が当たり負傷した。	73	3	391	30～ 49
17	2016	9	11～ 12	豚係留場において、大豚が暴れていたのを別の柵に入れて、左に持っていた電撃器を豚の頭にあてた時、豚が硬直し前足が突っ張った状態で自分の右足に乗ってきた。その為、右足を負傷した。	47	6	911	30～ 49
18	2016	9	9～ 10	工場内にて鳥の解体作業中、左手に持った包丁を右手示指にあててしまい切創。	26	8	364	50～ 99
19	2016	9	14～ 15	出庫作業場において、商品を引取業者のトラックに積み込む作業の為、商品をトラック内に引っ張り入れる際、商品に引っ掛けたS字金具が外れた。その為、後ろ向きにトラック	45	2	364	50～ 99

				内で転倒し、後頭部、肩、背中等を強打し負傷した。				
20	2016	9	9～ 10	昇降台に乗って大貫枝肉のトリミング作業をしていた。次の大貫が流れて来るまでに少し時間があったので、昇降台の手前で雄の大貫を止めていたが、気がつくると別の作業員が昇降台の背後まで流していた。被災者は昇降台の背後に大貫があったため、昇降台を横から降りようとしていた。大貫の足が昇降台の踏み台を隠していて、もう一段あることに気づかず降りてしまったら、左足をひねってしまい小指を骨折した。	44	90	371	100～ 299
21	2016	5	10～ 11	大動物解体室で牛のと殺作業中、牛を銃撃したところ、通常とは逆の向きで倒れてしまった為、通常とは異なる方法で放血を行う必要があった。その為、不慣れな体勢での作業となったが、その時に牛が暴れた為バランスを崩して転倒した。	65	2	416	50～ 99
22	2016	4	8～9	牛トロリー消毒槽から「消毒済み牛トロリー」が上部レールに移動し、掛替え場所方向に走り出した時に、牛トロリー1本が約4mの高さから落下した。トロリーレールの真下付近に居た被災者の顔面と右肩に当たり、裂傷・打撲した。	26	4	211	100～ 299
23	2016	3	8～9	と畜場で館内履きから長靴に履きかえようとした際、中途半端な状態で動いてしまい前のめりに転倒した。その際、右ひじと左手、左ひざをついた。	64	2	379	100～ 299
24	2016	2	11～ 12	畜産センターにて豚の解体作業を行う際、半地下のボイラー室にある用具を取り階段を上がり踊り場で足を踏み込んだ瞬間、膝に激痛が走った。	45	19	921	10～ 29
25	2016	1	10～ 11	牛の係留所で牛の腹部に「おわり」と書こうとしているときに、牛に左大腿部を蹴られて内出血した。	63	6	719	100～ 299
			14～	工場において、鶏サバキ作業をしているとき、足をサバくために左手で肉を開き、右手に包丁を持った状態で作業をして				

26	2016	1	15	いたところ、包丁が鶏の骨に当たったはずみで滑り、誤って刃先が左手に当たり負傷した。	31	8	364	1～9
27	2015	11	8～9	牛の解体作業中、牛のタタキ場で牛の面皮を剥ぐ作業をしていたところ牛が動いた為、左手人差指に右手で持っていたナイフが当たり、切創を負った。	18	8	364	50～ 99
28	2015	11	8～9	大動物と畜解体処理室において、高架軌条レールに逆さ懸垂された牛と体の舌を出す際に、誤って右手に持っていたナイフを落としそうになり、とっさに左手で掴んでしまった為、ナイフの刃部が左手薬指付け根に当たり受傷する。	21	8	364	100～ 299
29	2015	10	11～ 12	工場内の鶏解体工程（流れ作業）で、搬送機械のハンガーに吊り下げられた鶏胴体から手羽先部位を引き離す作業中、右手に包丁を持った状態で、手羽先部位を両手で持ち下方に引き離そうとしたとき、雄鶏で肉が固く力を入れて引き離したため、勢い余って包丁の刃が左手首に触れて切った。	51	8	364	10～ 29
30	2015	9	8～9	作業場枝室（冷蔵庫）内で枝肉を移動させる際床が凍っていて足がすべり転倒し左足を強打した。	63	2	417	10～ 29
31	2015	9	9～ 10	大動物係留所にて、牛追い込み作業中、係留柵の中で、作業者が牛正面から後退させる際に、牛にしゃくり上げられ、係留柵の柵へ押し付けられ負傷した。	49	6	719	100～ 299
32	2015	5	15～ 16	枝肉を引っ掛けるトロリを移動するために、行き来している時に階段が牛のあぶらで滑りやすい状態だった為、階段を降りているときに滑って転び負傷した。	56	2	413	30～ 49
33	2015	4	12～ 13	牛舎で除糞作業をするために、牛を牛舎から外に移動させようとしたときに柵と壁に追い込まれ、はさまれてしまい胸を負傷した。	38	7	719	1～9
			14～	豚の剥皮作業中に、皮が破れたため、2人作業で皮のセットとしてスキナーの再始動をする際、もう1名の作業者が手				50～

34	2015	3	15	を離す前に始動スイッチを押したため、右手小指をスキナーに挟み負傷する。	30	7	165	99
35	2015	1	13～ 14	清掃作業中、洗濯用洗剤（20?缶）を容器に移した際、腰をひねり痛めた。	20	19	611	50～ 99
36	2014	12	16～ 17	牛の生体洗浄作業中牛と牛の間にはさまり、左肩を痛めた。	36	7	719	50～ 99
37	2014	11	0～1	枝肉出庫場で、牛枝肉の積み込みをしていたところ、牛枝肉（約200kg）が倒れ掛かり、頭に当たった衝撃で腰を痛めた。	56	5	611	10～ 29
38	2014	11	16～ 17	畜産頭処理室で頭をコンテナで運び出している時に、動きの悪いコンテナが思う方向ではない方に転がり、そばにあったコンテナとの間に小指を挟み切った。	63	7	391	100～ 299
39	2014	11	11～ 12	工場内鶏解体ラインで、内臓検査をするため骨を手引き式で外す作業中、鶏の骨が折れ二重に装着した手袋を突き抜けて左手の平に骨が刺さり負傷した。	65	90	719	10～ 29
40	2014	11	10～ 11	豚の屠畜解体作業で、皮むきの前処理のそでむきをしている時、あやまって左手腕をナイフで刺した。	31	8	364	30～ 49
41	2014	11	9～ 10	当社解体室にて、鶏の骨付きモモより骨をはずし、鶏モモ肉に解体する作業中、誤って左手人差し指をナイフで切った。	34	8	364	10000 ～
42	2014	10	11～ 12	亀裂補修で脚立の設置を行って確認中に、隣の建屋の階段踊り場が張り出しており脚立を設置する場所が十分とれなかったためバランスが崩れ脚立が倒れ落下し、右足を強打して骨折した。	57	1	371	30～ 49
43	2014	10	19～ 20	屋上にあるテニスコートで人権講習会を行い、終了後に交流会を行うためベンチを移動し座ろうとしたところ、片方の足が完全に伸びきっていなかったためベンチが倒れ、左手も人差し指をベンチとコンクリートの床に挟んでしまい裂傷と骨	67	5	391	50～ 99

				折を負った。				
44	2014	10	16～ 17	バンドソーを使い丸鶏を半分に切断する作業中、誤って右手人差し指をバンドソーの刃に接触し切ってしまった。安全手袋をせずに作業していた。	70	8	364	50～ 99
45	2014	9	11～ 12	食肉センター作業内で、機械にかかっている部品（S字管）を取り外し、土台にしていたベルトコンベアから降りようとした時。誤って足を踏み外し、バランスを崩して転落してしまい、後頭部を強打して2ヶ所切った。	60	1	169	50～ 99
46	2014	9	9～ 10	豚のトリミング作業にて、ナイフ洗浄機でナイフ洗浄後、ナイフ消毒槽に左手に持ったナイフを入れる時、ナイフの先が洗浄槽と消毒槽の間にあるシャワーの柄（フレキシブル）に当たり、その反動でナイフの先が右手小指の付け根に刺さり負傷した。	43	6	364	100～ 299
47	2014	8	12～ 13	作業終了後、更衣室に向かって歩いている時に湿気でぬれた廊下で滑ってアルミ製のトイに手がかかり右手のひらを切った。	55	2	417	30～ 49
48	2014	8	12～ 13	大動物（牛）解体職場の清掃中、台座に乗った内臓受けトレイが動いた際によけきれず、左ひざを台座と柱の隙間に挟む形となり負傷した。	44	7	362	100～ 299
49	2014	6	10～ 11	手を滑らせてエアナイフを落としてしまい、拾い上げる際にエアナイフの電源が入っていることに気づかず、スイッチを握ってしまったため、エアナイフが暴れて左手親指外側にあたり切創を負った。	28	8	169	50～ 99
50	2014	5	13～ 14	2人で洗浄作業中、縦50cm×横60cm×高さ30cm、重さ10kgの金網を右手にホースを持ちながら左手で持ち上げていた際、一人の作業者が金網に付いている油で手を滑らせたため、一人で金網を支え、左肩に負担がかかり、負傷した。	39	19	379	30～ 49

51	2014	5	8～9	食肉センター屠場内にて牛の屠畜作業中、牛に押され転倒した際、床下にあったハンマーの突起部で左の掌を刺した。	48	6	719	30～ 49
52	2014	4	12～ 13	作業開始前清掃の為、お湯のホースを充填機に近づけたところ、ウイナー台車の下に、ホースが絡んでしまい、ホースを直そうとしゃがんだ時誤って、滑り、尻餅をついてしまい、その反動で頭を打ちつけて打撲してしまった。	48	19	379	100～ 299
53	2014	2	11～ 12	豚の内臓を出すときに切った。	48	8	364	10～ 29
54	2014	1	14～ 15	大動物（牛）の荷降ろし、係宿作業中に躓いて、右足首を痛めた。	28	2	417	100～ 299
55	2013	10	12～ 13	豚の内臓物をベルトコンベヤーで搬送中、ベルトコンベヤーのチェーンが外れたため、修理しようと外した際、ベルトに装備されているステンレス製の受け皿が下方の棧に当たり、コンベヤーに鉄パイプを差込んでパイプを引き上げようとしたところ、腰を痛めた。	54	19	224	30～ 49
56	2013	9	16～ 17	機械を移動中、機械を倒し、親指をはさんだ。	59	7	612	50～ 99
57	2013	8	11～ 12	小動物解体室にて、小動物背割機の内部清掃が終わり、後ずさり背割機から出ようとした際、15cm程度の高さの踏み台を踏み外し、肘から転倒した。	53	1	371	50～ 99
58	2013	8	9～ 10	枝肉保管庫にて、枝肉移動作業中、枝肉予冷室で枝肉を押していたところ、足を滑らせ、肩から転倒し、肩を強打した。	51	2	417	50～ 99
59	2013	7	13～ 14	スライサーを使用してハムをスライスする作業中、スライサーの位置を調整しようと動かしたところ、スライサーの電源を切らずに動かしたため、手と刃が接触した。	52	8	165	30～ 49
60	2013	7	13～ 14	牛の畜解体作業中、牛の頭部からほほの肉を取り出す作業中、誤ってナイフを滑らせ、手示指を切った。	51	8	364	10～ 29

61	2013	7	12～ 13	牛の追込み口にて、追込み作業中、牛が突込んできた為、動 転し、肩を捻った。	41	19	921	10～ 29
62	2013	6	15～ 16	豚の解体作業中、エアークナイフを手で持ち替え、皮を?こうと した際、誤って手小指を切った。	39	8	364	30～ 49
63	2013	5	10～ 11	豚の解体室にて、天井のレーンから逆さ吊りにになっている豚 の喉をナイフで出す作業中、レーンを流れてきた次の豚の足 にかけてあるチェーンが外れ、豚が落下し、被災者に当たっ た。	59	6	391	30～ 49
64	2013	5	9～ 10	死亡牛集荷作業中、トラックの荷台から降りる際、足を滑ら せ、バランスを失い、トラッククレーンのトリガー上部に膝 を強打した。	39	2	212	1～9
65	2013	2	11～ 12	首を外す際、切った。	20	8	364	10～ 29
66	2013	1	9～ 10	記載なし	64	2	911	30～ 49
67	2012	11	11～ 12	大動物の内臓処理にて、胃の内容物などを搬送するブロー シューターの扉に、誤って手中指先端を挟み、負傷した。	54	7	165	100～ 299
68	2012	11	9～ 10	作業所内にて、豚の部屋に入り、豚を動かしていたところ、 豚に足を踏まれ、負傷した。	30	6	719	10～ 29
69	2012	9	10～ 11	小動物の解体室にて、豚の解体作業中、豚の頭をナイフを使 い落していたところ、豚が動き、手で持っていた豚の皮とナ イフが近かった為、小指外側を切った。	25	8	364	50～ 99
70	2012	9	10～ 11	サイドプラーにて、皮むき中、枝肉がはずれ、自分の体に あたり、ステップから落下し、胸を打ち付けた。	49	1	165	10～ 29
71	2012	8	14～ 15	牛の繋留場にて、高さ約3mに設置してある扇風機を掃除す るため、脚立上から、脇の移動式仮設足場に移動しようとし たところ、距離目測を誤り、足から落下し、負傷した。	49	1	371	30～ 49

72	2012	8	14～ 15	鶏を切っていた際、片手で鶏を押さえ、もう片方の手でサバキ包丁を持ち、切ろうとしたところ、鶏の骨に当たり、つかえ、サバキ包丁が滑り、手人差指に当たり、負傷した。	69	8	364	1～9
73	2012	8	14～ 15	牛のと畜作業終了後、ナイフを研いでいたところ、誤って手の平にナイフの先を刺し、負傷した。	38	8	364	10～ 29
74	2012	7	10～ 11	剥皮後の皮取り付けチェーンを取り外した際、腰に力を入れたところ、急に痛めた。	38	19	911	30～ 49
75	2012	6	11～ 12	解体室の牛解体処理工程にて、肛門結束作業でトリミング処理中、対面のもも剥ぎ作業者が使用していたエアメスが誤って手人差し指に接触し、負傷した。なお、エアメスとは、2枚の刃が上下に摺り合い肉をカットするもので、動力源は電気である。	27	6	169	50～ 99
76	2012	5	11～ 12	豚の血抜きをする為、電気ショッカーで豚を失神させた際、豚から離れるのが遅れ、豚が膝の上に倒れ、膝を負傷した。	63	6	719	30～ 49
77	2012	4	13～ 14	豚をシャックル掛け作業中、豚が暴れた為、豚の足にかけたシャックルが外れ、手に当たり、手首を負傷をした。	37	6	379	30～ 49
78	2012	3	9～ 10	小動物解体室で豚の解体作業中、ナイフを用いてアキレスの処理をしていたところ、誤って足の太ももにナイフが当たり、切創を負った。	41	6	364	50～ 99
79	2012	2	12～ 13	小動物（豚）の内臓処理職場で使用する小腸切開機で作業中、品物が詰まりそれを解消しようとした際、刃に触れてしまい中指外側第1関節あたりを切創した。	43	8	165	100～ 299
80	2012	2	14～ 15	牛（大動物）の追い込み作業中、牛が暴れ、柵と手の甲を挟まれてしまった。	33	7	719	100～ 299
81	2011	12	8～9	小動物解体室で作業準備中、ナイフを砥石で砥いていたところ、ナイフが砥石に引掛かり、ナイフを押さえていた左手中指の内側を切ってしまった。	66	8	364	50～ 99

82	2011	12	13～ 14	A市B社屠場内において、お昼休憩後、作業を開始する前に自分の持ち場を軽く清掃しようとし、コンベアを跨ごうとした際に、足が引っかかり転倒し、右手を突いて骨折した。	57	2	416	30～ 49
83	2011	10	15～ 16	豚のと殺解体作業で内臓出しをしている時、右手のナイフで誤って左手の甲をさして負傷した。	48	8	364	30～ 49
84	2011	9	8～9	プラットフォームで荷卸し作業をしている際、台車に右足を取られて前のめりに転倒し、左手を突いたため左手首と肋骨骨折した。	61	2	362	100～ 299
85	2011	9	13～ 14	豚舎の清掃作業のため、お湯を使おうとバルブを開けた際、ホースが暴れてしまい、暴れたホースから、熱湯が右頬にかかり火傷をした。	56	11	715	30～ 49
86	2011	8	13～ 14	豚のと殺解体作業で、内臓の白物出しをしている際、あやまって右手のナイフで左うでを切った。	24	8	364	30～ 49
87	2011	7	9～ 10	直腸割き作業中、内臓落下槽への移動中、バケツを持った相手が被災者に気づかず、持っていたお湯（85℃位、大腸切開機洗浄用に汲み上げたもの）が、振り向き様に（被災者の）右肩から背中にかけてかかってしまった。	43	11	911	50～ 99
88	2011	7	10～ 11	養鶏場で鶏の積み込み作業をしている際、大型トラックの荷台から地面に飛び降りたところ、足を怪我した。	42	2	221	50～ 99
89	2011	7	13～ 14	鶏の入ったカゴを移動させる作業中、誤って自分の持っていたカゴに引っかけて、移動させる棒（金具）に引っかかり転倒した。	61	2	364	10～ 29
90	2011	7	6～7	第3農場10号舎前で、資材の片づけをしていた際、早朝降った雨で濡れていたため、滑って転んで左肩を脱臼した。	27	2	417	10～ 29
91	2011	6	10～ 11	事業所内の牛のと殺室で、牛の首をナイフで切ろうとした際、牛の頭が突然、条件反射的に動いたため、持っていた刃渡り約15cmのナイフが手前に強く押され、刃の根元部分	39	8	911	10～ 29

				が人差し指および中指に当たり負傷した。				
92	2011	6	14～ 15	牛処理場内で大分割作業中、吊るしてあった牛肩肉が管から外れ落下して足にぶつかった。	36	4	611	10～ 29
93	2011	5	8～9	A市と場内において牛解体作業中、牛けん引機内にて、牛が暴れ、歩行困難となり、チェーンブロックで保留先に引っ張り出し、チェーンを外そうとした時、牛が暴れて、本人が転倒し、他の保留中の牛に左後頭部を蹴られた。	43	6	911	10～ 29
94	2011	5	3～4	食肉センターの豚枝肉冷蔵庫内で、脚立に上って壁の清掃中に、体勢を変えようとして足を滑らせ、脚立と一緒に転倒し、胸を打った。	43	1	371	50～ 99
95	2011	4	13～ 14	解体作業中、牛のうしろ足の皮をはぐ時、左手に持っていたメスで誤って右腕を突いた。	40	8	364	不明
96	2011	3	16～ 17	事務処理の仕事で、床の配線に躓き、転倒してしまい、左肩を床で打ち骨折した。	63	2	417	10～ 29
97	2011	2	12～ 13	豚のと畜解体場で前足切断作業中に右手に持った油圧フットカッター（豚足切断機）の手元スイッチが作動せず、何度もスイッチを押しているうちにカッターが作動し左手が切断刃に接触していた事に気づいていなかったため左手親指を切断した。	23	8	169	30～ 49
98	2011	2	14～ 15	大動物解体室でナイフを研ぎナイフロッカーにしまうためにタオルでナイフをふいていたところ、手が滑り右手中指を切ってしまった。	29	8	364	50～ 99
99	2011	2	16～ 17	工場棟の加工室にてスペック作業終了後、ナイフを砥いでいる時、誤って手を滑らせた左手示指がナイフと接触し、切ってしまった。	29	8	364	50～ 99
100	2011	1	10～ 11	工場内でフットカッターという器具を使って豚の足を切断する作業をしていたところ、あやまって左手中指の先を切って	72	8	165	10～ 29

しまった。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。